

資源の過剰な集積・収奪防止機能

—窒素やリンなどの物質、資源が過剰に集まることを防ぐ働き—

各地で農産物を安定的に生産することにより、輸出入を通じて窒素やリンなどの物質、農産物などの資源が、一部の地域に過剰に集まるのを防ぐ働きがあります。

また、窒素は動植物の生命活動を通じて循環しており、そのエネルギー源を確保する手段としての農業生産活動が大きな関わりをもっています。



水田転作や遊休農地を活用して、飼育に必要な飼料を自給飼料（牧草、とうもろこし等）で生産している。

（（有）清里ミルクプラント：山梨県）



畑作で大豆～ソバ～小麦の二年三作の輪作体系を行っている（（有）たけやま：群馬県）



食用油をバスや農林作業車の燃料として再利用。

休耕田への菜の花栽培を推進している。

（NPO法人愛のまちエコ倶楽部：滋賀県）